

みどりの 翼

特集 フリー！

フリー（free）：自由な、
無料の、
解放する。

2024年7月 Vol. 86



なのビィ



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

「好き」を表現する

「簡単！楽しい！はじめての同人活動ガイドブック」

(萌)表現探求サークル／著 杜（ジヤク） 2022年 023.89/円 15歳以上



同人誌を作ってみたいけど、何から始めればいいのか分からない…という初心者に向けた本です。一次創作と二次創作の違いから始まり、WEBで活動する際の注意点やマネーも詳しく書かれています。同人誌の作成・印刷、グッズの制作や即売会へのサークル参加など、実際にやってみないと分からないことも多いですよ。守るべきポイントをしっかり押さえて楽しく活動しましょう。

タダの裏には何かがある？

「スマホアプリはなぜ無料？ 10代からのマーケティング入門」

松本健太郎／著 河出書房新社 2023年 675/円 15歳以上



私たちは日々暮らしていく中、モノやサービスを買うことなしに生きてはいけません。それに自分で選んで買っているつもりでも、売る側にままと買わせられているかもしれません。でも、そうなる仕組みやマーケティングについて知れば、誰かの「養分」にならずに済む、と松本さんは言います。「何かを成し遂げたい」と考えている人にとって、マーケティングを学ぶことはきっと役に立ちます。

レゴで何でも作れます

「ブロックでなんでもつくる！ビルダーの頭の中」

三井淳平／著 偕成社 2024年 289/円 児童



著者の三井さんは、日本で初めてデンマークのレゴ社に認定されたプロのレゴビルダー。プロになると大量のブロックを会社から直接購入できるので、大きな作品を製作することが可能になります。葛飾北斎の富嶽百景には5万個のブロックが使われて、白波が上手に表現されています。他にも、通天閣やモアイ像など、見上げるほど巨大な作品もありますよ。楽しいレゴの世界と三井さんのことを知ってみよう！

自由に生きたい！！

「ばかみたいって言われてもいいよ①」

吉田桃子/著 講談社 2020年 913.6/3/1 ティーンズ



学校で変な噂を流されて困っている杏都でしたが、親の離婚がきっかけでおしゃれな建物もない田舎に住むことに。でも引っ越した日にとっても可愛いワンピースを発見。自分の嫌な所を反省する杏都は、今の私には似合わないワンピースを買うのを諦めます。友達と関わっていく中で、自分のことばかみたいって思うけど、それが私！と自分らしく生きていこうとする杏都は、かっこいいです。

自由なネコちゃんの決定的瞬間！

「必死すぎるネコ」

沖昌之/著 辰巳出版 2017年 645.7/1 ティーンズ



まちの中で自由に生きているネコちゃんたちの一瞬の様子を捉えた写真集です。必死なネコちゃんの姿を見ると、なんだか自分も力が入ってしまいます。文字が一切ないので、どういうシチュエーションなのかを想像したり、大喜利をしてみてもいいかも。続編の『前後不覚編』『一心不乱編』も図書館にあるので、そちらもおすすめですよ。

奴隷解放のために捧げた一生

「自由への道」

池田まき子/著 学研プラス 2019年 289/7 児童



今から約200年前、ハリエット・タブマンはアメリカのメリーランド州で奴隷の子として生まれました。そして、91年間の生涯を奴隷解放のために闘った黒人女性です。27歳の時、奴隷制度に反対する人々に助けられながらたった一人で自由州めざして逃亡するシーンには心を打たれます。ハリエットの人生から、悲惨な奴隷制度やアメリカの歴史を学ぶことができます。

中央図書館では、他にもオススメ本を展示しているので見に来てね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

恐竜と暮らす街

「ちいさなきょうりゅう」

クラナガ/さく・え KADOKAWA 2024年 E/7 アイズ

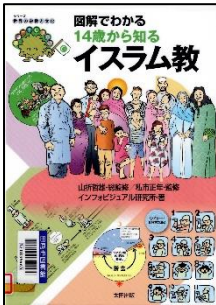


X(旧Twitter)やInstagramで『恐竜はじめました』を掲載しているクラナガさんの初絵本です。おいしいものを食べたり、おでかけしたり。可愛い恐竜たちと過ごす穏やかな日常が描かれています。『恐竜はじめました』のキャラクターがあちこちに登場するので、細かいところまで眺めてどこにいるのか探すのも楽しいですよ。

礼拝の時間を教えてくれるアプリもあるんだって！

「図解でわかる14歳から知るイスラム教」

インフォビジュアル研究所/著 太田出版 2024年 167/P アイズ



イスラム教が信じる神はコダヤ教、キリスト教と同じ。コーランには聖書と同じエピソードが登場します。また、イスラム教徒が一番多い国はインドネシアで、以下パキスタン、バングラデシュとアジアの国が続きます。この本を読めば何となく抱いているイスラム教のイメージが変わるに違いないです。参考文献にマンガ『サトコとナダ』が挙げられていて「おお！」と思いました。

自分が自分に作ってしまう透明なルール

「透明なルール」

佐藤いつ子/著 KADOKAWA 2024年 913/P アイズ



この人はこう思う…と自分で決めつけちゃってませんか？こうしたら友達に嫌われる、お父さんに嫌われると思ってなかなか自分の気持ちを伝えられない優希。モヤモヤしながら過ごす中で、あるクラスメイトの言葉に人それぞれの気持ちがあることに気づいて…。嫌われるのが怖いと思う優希が自分と葛藤しながら素直に自分の気持ちを伝えようとする姿、応援したくなります。